

情報公開文書

研究の名称	植込み型補助人工心臓症例における重症心室性不整脈の治療に関する多機関共同研究
整理番号	R2022202
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	第二内科 絹川弘一郎
研究の概要	<p>【研究対象者】 2018年1月1日から2022年12月31日までにLVADの植込みが行われ、かつ持続性心室頻拍あるいは心室細動の既往がある（LVAD植込みの前後を問わない）方</p> <p>【研究の目的・意義】 本研究の目的は、重症心室性不整脈（持続性心室頻拍あるいは心室細動）の既往のある植込み型補助人工心臓（以下、LVAD）症例における、カテーテルアブレーション等の治療が植込み後の経過に与える影響について明らかにすることです。有効性が判断できれば、LVAD症例における重症心室性不整脈への治療方針について、新たな指針に繋がる可能性があります。</p> <p>【研究の方法】 カルテ記録、カテーテルアブレーションのレポート等を確認し、カテーテルアブレーションの手技や転帰について調査します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2024年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 研究結果は論文として国際雑誌に発表する予定ですが、研究対象者に対する個別の結果説明は行いません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	診療録より入手した情報（身長、体重、性別、内服内容、術中所見、LVAD植込み術後の心室頻拍の再発や心不全再入院、心血管死などの有無、血液生化学検査、心臓超音波検査、心電図、透視画像）は、匿名化された後、研究代表機関に送付され、他参加機関の情報と統合して解析されます。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志、筑波大学附属病院 病院長 原 晃、山形大学医学部附属病院 病院長 佐藤 慎哉、杏林大学医学部附属病院 病院長 近藤 晴彦、国立循環器病研究センター病院 病院長 飯原 弘二、神戸大学医学部附属病院 病院長 眞庭謙信、東京女子医科大学病院 病院長 板橋道朗、信州大学医学部附属病院 病院長 花岡正幸、東京医科歯科大学病院 病院長 藤井靖久、名古屋大学医学部附属病院 病院長 小寺泰弘、埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯俊昭、福島県立医科大学附属病院 病院長 竹石恭知、北海道大学病院 病院長 渥美達也、鳥取大学医学部附属病院 病院長 武中篤、大阪大学医学部附属病院 病院長 竹原徹郎、群馬県立心臓血管センター 院長 内藤滋人、岡山大学病院 病院長 前田嘉信、大分大学医学部附属病院 病院長 三股浩光、千葉大学医学部附属病院 病院長 横手幸太郎、北里大学病院 病院長 高相晶士、東京大学医学部附属病院 病院長 田中栄、久留米大学病院 病院長 野村政嘉、慶應義塾大学病院 病院長 松本守雄、日本大学医学部附属病院板橋病院 病院長 高橋悟、愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆、佐久総合病院 佐久医療センター 院長 宮田佳典、東京都健康長寿医療センター センター長 許俊鋭、九州大学病院 病院長 中村雅史、大阪警察病院 病院長 澤芳樹
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任	筑波大学循環器内科 准教授 石津智子

者（研究主機関における研究責任者氏名）	
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7297 FAX 076-434-5026 E-mail naika2@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 第二内科・片岡直也